

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成21年度取組実績」

19 東京都公立幼稚園PTA連絡協議会

21年度の具体的取組			21年度の実績
1. あらゆる分野への参画の促進			
(2) 社会・地域活動への参画促進			
	父親のPTA活動への参加を促進する。 保護者（PTA）として、父親・母親の枠を取り払う。 （1）子育て研修会を開催し、子育てを見つめなおす機会とする。また、父親と遊ぶ楽しさが体感できる場を設ける。 （2）講演会「落語の世界に学ぶ子育ての心」を開催し、昔から変わらぬ両親の愛やしつけの仕方などについて考える機会をつくる。		（1）平成21年10月25日（日）、墨田区立両国中学校にて「子育て研修会」を開催し、約1000名の参加を得た。 ・親子で遊ぶコーナーを設置し、親子で一緒に遊ぶ楽しさを体感した。 ・講演会「目と目でわかる親子のコミュニケーション」を通して、子どもとのかかわり方について理解を深めた。 ・日曜日に開催したことで、父親・母親そろっての参加も多かった。 ・都内各区の保護者が集まり、子育てについて意見を交換し、また子育てに関する情報を共有した。 （2）平成22年1月18日（月）、文京シビックホールにて「東京都幼稚園PTAリーダー研修会」を開催し、約400名の参加を得た。 ・講演会「落語の世界に学ぶ子育ての心」を通して、先人の子育ての知恵やしつけのあり方などについて学ぶ機会となった。
(3) 仕事と家庭・地域生活の調和がとれた生活の実現			
	② 子育てに対する支援		
	子育て支援事業と健全な子どもの育成との関連を調べる。 公立幼稚園の預かり延長保育や、行政が進めている幼保一元化等の子育て支援と適正配置が、保護者の男女平等参画にどのような影響があるのか検討してゆく。		年間5回の東京都公立幼稚園PTA連絡協議会理事会を開催し、各区が取り組んでいる公立幼稚園の預かり保育や幼保一元化等について情報を交換した。
3. 男女平等参画を推進する社会づくり			
(1) 教育・学習の充実			
	幼児期に男女平等の意識の芽生えを培うため家庭環境の工夫を図る。 各幼稚園において、保護者が、親として大人としてどのように子どもに対応することがよいのか、また、両親の役割などはどのように考えたらよいのかなどについて話し合う機会をもてるように呼びかけてゆく。		各幼稚園において、男女平等参画の芽生えについて考える機会をつくるため、各幼稚園の研修会・保護者会などで話し合った。